

11月6日

上高生が見学旅行先でまちをPR



上士幌高校の2年生57人が、見学旅行先の京都市内で上士幌町のPRを行いました。

この取り組みは、日ごろよりお世話になっていいる地元への感謝及び生徒が地域の魅力を知るとい目的で実施されました。

生徒たちは、京都駅前にてまちの観光冊子や特産品（ミルクジャムや小豆）が入った袋を通行人に配布。配り始めてからわずか20分ほどで、用意していた1000袋を配り終えました。

「ほんちゃん」の着ぐるみを着てPRした見学旅行実行委員長の浅野敦哉さんは「動きづらく大変だったが、やりがいがあった。またやってみたい。」と、今回の活動の手応えを感じたようでした。

11月18日

花と緑に親しむまちづくり講演会

生涯学習センターにて、町主催の「花と緑に親しむまちづくり講演会」が行われました。

公益財団法人日本花の会の「花と緑の研究所」主任研究員である和田博幸さんを講師にお招きし、行政と住民が協働で行う花のまちづくりについて、知識を深めました。

和田さんは全国各地の事例を紹介しながら、花の魅力やまちづくりの進め方について説明し、「花の社会性

をまちづくりに生かすには、地域のコミュニティやネットワーキングづくりのほか、まちの歴史や文化を生かすことが効果的です。」と話されました。

講演後には、食べられる花（エディブルフラワー）の試食会も行われ、参加者は色とりどりの花で飾り付けられたクラッカーやゼリーを試食し、身近な花が食べられることに驚いているようでした。



11月20日

地域包括推進ケアフォーラム

地域包括支援センター主催の「地域包括推進ケアフォーラム」が、生涯学習センターで開かれました。特定非営利法人HPT統括部長で、理学療法士でもある岡田しげひこさんが「高齢者がイキイキしていくまちづくり」と題し、講演を行いました。



岡田さんは「超高齢社会を迎える中、高齢者が介護を必要とせずに暮らすためには、閉じこもりを解消し、水分・食事・排便・運動に気を付け、健康寿命を伸ばすことが大切

ミュージックサイトvol. 14

12月7日(日)、山村開発センターにて、ミュージックサイトvol. 14(同実行委員主催)が開催されました。

町内のアマチュアバンド計5組が出演し、ロックやポップスなどバラエティーに富んだ音楽で多くの観客を楽しませていました。

11・12月の まちのわだい



「まちのわだい」のコーナーでは、みなさんからの楽しい話題や情報をお待ちしています。

企画財政課情報交流担当 ☎2-4290 または E-Mail ✉ kikakuzaiseika@town.kamishihoro.hokkaido.jp まで、お気軽にご連絡ください。

です。」と話されました。

講演後、町内自主サークルなどの代表者が「私たちの介護予防活動」と題して報告を行い、地域でできる介護予防方法について意見交換が行われました。岡田さんもコーディネーターとして出席し、高齢者の活動についてアドバイスを送っていました。

12月3日

みどり会が北海道社会貢献賞を受賞

「ボランティアみどり会」（伊藤美枝子会長）が、北海道社会貢献賞（地域活動推進功労者）を受賞し、役場にて伝達式が行われました。



本受賞は、長年にわたる特別養護老人ホーム「上士幌すずらん荘」での生活支援活動などの功績が認められたものです。

の長谷山環境福祉社長より表彰状と記念品が手渡され、伊藤会長は「周囲の方々や会員の方々の支えがあってこのような素晴らしい賞をいただくことができ、会を代表して感謝を申し上げます。」と話されました。

12月6日・14日

親子で学びのちのちのたいせつさ

ふれあいプラザにて「たいせつないのちのちのきょうしつ」（上士幌町生教育支援チーム主催）が開催されました。



教室は6日と14日の2日間行われ、年長児童を中心に子ども22人、その親23人が参加し、生まれたときの喜びを再現する「いのちのトンネルくぐり」や絵本の読み聞かせなどをを行い、「いのち」の大切さについて学びました。保護者からは「以前から、いのちのでき方や大切さについて、子どもにどのように教えたらよいか悩んでいた。この教室で、親子一緒にいのちについて学ぶことができてよかった。」などの感想が聞かれました。

12月8日

生涯学習センター基本設計案説明会

生涯学習センター改築（建替）基本設計案の説明会が開かれ、基本設計業者の株式会社アトリエバンク（札幌市）の加藤誠・設計管理責任者ら3人から、設計方針や施設の平面図などが提示されました。

説明会では、同社より「施設には地元のカラマツを使用するほか、世代間交流を促すため、開放的で自由度の高い空間演出がなされている」などの説明があり、参加者は熱心に耳を傾けていました。



改築（建替）基本設計案説明

12月13日

カッコウのクリスマス会

毎年クリスマス時期に開催されているお話し会「カッコウ」によるクリスマス会が開かれました。



絵本『サンタさんからきたてがみ』の読み聞かせや先日作成したジャンボ紙芝居『ちんちろりんおばけ』などが披露されました。

最後のパネルシアター『あわてんぼうのサンタクロース』は、参加者と共に歌いながら演じられ、今年も手作りの温かいクリスマス会にはんかわりました。

【まちのわだいの写真館】



ヨーラスはなみずき第7回定期演奏会 (11/29)



人形劇回ホボ回「マーシャとくま」(11/30)

地域を変えてく新しいカ

地域おこし協力隊活動報告

TITLE: ウィンター・ハズ・カム

記: 観光振興推進員 木村 健太郎



みなさんお変わりありませんか。今年も当たり前ですが冬がやってまいりました。私は冬が好きなのでわくわくしています。

ぬかびら源泉郷の冬の楽しみといえば、結氷する糠平湖上でのワカサギ釣りが有名ですが、完全結氷する前の今ごろの湖でも面白いことがあるのをご存じでしょうか。波打ち際には、切り株などにシャンデリア状の氷ができたり、湖上に小石を投げると氷の上を転がる音が響きわたって、とても不思議な（言葉では言い表せない）体験が出来ます。地元の方にこそ知っていただきたい現象です。ぜひ温かい服装で遊びに来てください。

さて、近ごろの私の活動ですが、冬季観光にいらっしゃるお客さまを呼び込むべく、十勝管内各所へ行き誘致宣伝活動をしています。ラジオ局やスポーツ店などを回り冬の上士幌の魅力を伝え、たくさんの方に来てもらえるよう営業させていただいています。そのような中、ある営業先にてぬかびら源泉郷をご存じない店員さんに冬の魅力を伝えたところ、その場で年末の旅行先を上士幌に決めてくださり、地道な宣伝活動の成果を実感しております。

今シーズンはどのような冬になるのか、するのか。楽しんでやっていこうと思います。



▲誘致促進のためラジオに出演

上士幌高校新聞局 通信 月刊 上高



▲原爆ドームの前で黙とうする生徒たち

11月5日(水)～9日(日)にかけて、奈良・京都・大阪・広島で見学旅行が行われました。「集団生活を通じて、仲間に対する思いやりの気持ちを身につけ、連帯意識を養う」「戦争について学び、命の大切さを知る」など、5つを目的として実施されました。

5日目の平和学習は天候に恵

まれず、雨のなか原爆ドームや平和公園を見学しました。原爆供養塔前では生徒たちが折った三千羽の鶴を贈呈し、歌を送る平和セレモニーが実施されました。また、被爆講演では原爆の落下地点から2kmの所で被爆した坪井直さん(89歳)の体験や後遺症についての貴重なお話を聴きました。

平和記念資料館では、今まで写真でしか見る事ができなかった多くの資料を直接見る事ができ、生徒たちはあらためて原爆の恐ろしさや戦争の怖さを知り、二度と戦争をしてはいけないと再認識する良い機会となりました。

今回の見学旅行で学んださまざまなことを活かして、これから始まる進路活動に望んでいきたいと思ひます。

11月5日(水)～9日(日)
見学旅行で戦争の悲惨さ学ぶ

文責 古市 和摩

川柳

短歌

幾年の我が干支迎え初日の出
 おみくじを大吉だけは持ち帰る
 大雪にまけずにボクはがんばるぞ
 灯油より薪のぬくさがポカポカと
 目標が達成できず越年し
 つらかったゴボウ選果の初仕事
 冬休み決めた目標未達成
 真っ白な曆にあらたな夢を追う
 若い日にばかにした老い身に迫り
 いつまでの寿命知りたく風に問う

身障の君らと飾る作品展見てくれるかなとつぶやくを聞く
 若き日を仕事同じくしき友の突然の訃報夫は声上ぐ
 親元を離れて東京に住みし孫交通事故死知らさるるなり
 札幌に帰り来し孫の遺骨に七七忌に吾冬の道ゆく
 無理すなよとかたへにねむる妻の息ききつつ暗き臥床に思ふ
 かく太き幹となりたりしばらくの見ざりし松に触れておどろく

白丹齊 奎鈴小 小高米 坂
 石後藤 大木池 松木森 田
 昭敦 喜代 由義誠 真 い
 馨次子 子豊 希子美也弓 さ子

本 高 石
 間 木 川
 栞 慶 裕
 風 子 子

平成26年11月末現在の人口

男 2,386人(+2)

女 2,502人(-9)

人口 4,888人(-7)

世帯数 2,325世帯(-6)

寄付

▶野口君子さんは、12月5日、福祉の振興のため金10万円を寄付されました。

平成26年度ふるさと納税寄付金

11月分 6,328件
116,729,800円

累計 33,523件
575,334,202円

※全国より本町に篤志寄付の応援をしていただき心より感謝を申し上げます。

お詫びと訂正

●先月号「まちのわだい(P21)」の「ピザとワインの店バピリカ」オープンの記事において、お店の電話番号に誤りがございました。

(誤) ☎ 2-2648 → (正) ☎ 2-4648

訂正し深くお詫び申し上げます。

上士幌町民憲章

- 1 心もからだもきたえ、すこやかな人になりましょう。
- 1 おたがいに立場を理解しあい、楽しい家庭をつくりましょう。
- 1 きまりを正しく守り、明るい社会をつくりましょう。
- 1 自然を愛し、美しく住みよいまちにそだてましょう。
- 1 文化をたかめ、豊かな郷土を築きましょう。



◎生涯学習センターの基本設計案説明会を取材させていただきました。◎長年、みなさんが慣れ親しんだ施設も、今後50年を見据えていよいよ生まれ変わろうとしています。わが町のシンボルとして、子どもからお年寄りまで、笑顔で学び合える施設となることを期待しています。・・・S

◎今シーズンは、寒いけど雪が降らないなあ～と思っていたら…12月16日から17日にかけての大雪。このような積雪は、5年ぶりくらいではないでしょうか。◎この雪で町民スケートリンクや各小学校も造成できるのではないのでしょうか。◎今年の冬休みは、娘のスケート特訓です。その前リンクの上では小鹿のような私も練習しなきゃ。・・・K